

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-032572

(43)Date of publication of application : 31.01.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 15/00

G09C 1/00

H04L 9/32

(21)Application number : 2000-215023

(71)Applicant : RINKU:KK

(22)Date of filing : 14.07.2000

(72)Inventor : MINAMITANI HIROSHI

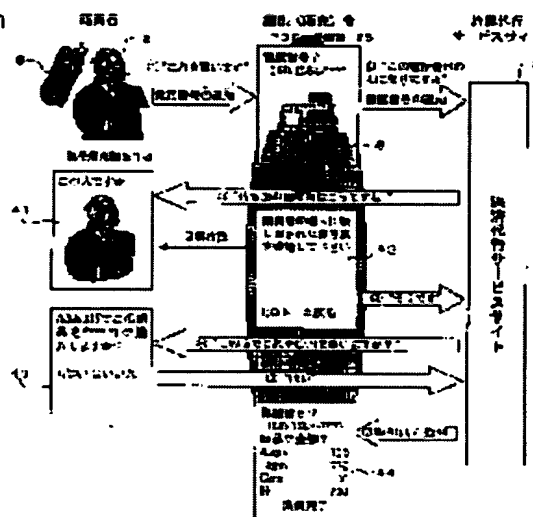
## (54) AUTHENTICATION SYSTEM, AUTHENTICATION METHOD AND SETTLEMENT SYSTEM

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide an authentication system which can accurately discriminate a wrong user from a normal registered user and also can prevent the wrong user from drawing the charges of purchased commodities or labor from the account of the registered user.

**SOLUTION:** A registered image 41 including a face photo of the owner of a cellular phone 5 is transmitted to the phone 5 from a settlement substitute service site 8 and displayed on a screen 13 (portable terminal screen) of the phone 5.

Thus, a supplier 3 can accurately discriminate a wrong user from a normal registered user to attain the accurate authentication from the registered owner's image 41.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 04.09.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 01.04.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of 2003-07473]

rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 01.05.2003

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(11)特許出願公開番号  
特開2002-32572  
(P2002-32572A)

(43)公開日 平成14年1月31日(2002.1.31)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>		識別記号	F I	テーマコード*(参考)	
G 0 6 F	17/60	2 2 2	G 0 6 F 17/60	2 2 2	5 B 0 4 9
		5 0 6		5 0 6	5 B 0 5 5
	15/00	3 3 0	15/00	3 3 0 F	5 B 0 8 5
G 0 9 C	1/00	6 6 0	G 0 9 C 1/00	6 6 0 B	5 J 1 0 4
H 0 4 L	9/32		H 0 4 L 9/00	6 7 3 A	
審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 10 頁) 最終頁に続く					

(21)出願番号	特願2000-215023(P2000-215023)	(71)出願人	500114069 株式会社リンク 大阪市中央区谷町2丁目2番18号 大手前 田中ビル
(22)出願日	平成12年7月14日(2000.7.14)	(72)発明者	南谷 浩 大阪市中央区谷町2丁目2番18号 大手前 田中ビル 株式会社リンク内
		(74)代理人	100084375 弁理士 板谷 康夫

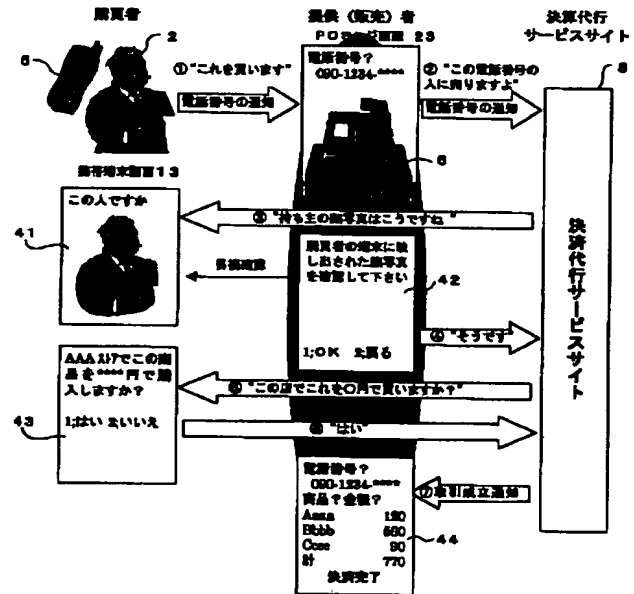
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 認証システムと認証方法及び決済システム

(57) 【要約】

【課題】 認証システムにおいて、不正なユーザと登録されたユーザとを正確に判別することを可能にして、不正なユーザが登録されたユーザの口座から商品又は役務の購入代金を引き落とすことを防ぐ。

【解決手段】 決済代行サービスサイト８から携帯電話５の登録上の所有者の顔写真を含む画像４１を携帯電話５に送信して、携帯電話５の画面１３（携帯端末画面）に表示させるようにしたので、提供者３が、この登録上の所有者の画像４１に基づいて、不正なユーザであるか、又は正規の登録上のユーザであるかを正確に判別することができ、正確な認証を可能とする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 携帯端末の所持者が登録上の所有者と同じであることを、該所有者が所望する商品又は役務を提供する提供者に認証するシステムであって、各種データの送受信が可能な携帯端末の登録上の所有者の顔写真を含む画像データを該携帯端末又は前記提供者側の端末に送信可能なネットワーク上のサイトを備え、前記サイトから前記携帯端末又は提供者側の端末に送信された前記所有者の画像データに基づく画像を画面に表示させ、前記携帯端末の所持者が登録上の所有者と同じであることを前記提供者に対して認証可能とすることを特徴とする認証システム。

【請求項 2】 前記サイトは、前記携帯端末又は提供者側端末から当該携帯端末の所有者についての識別情報を受信した際に、該携帯端末又は提供者側端末に前記所有者の画像データを送信することを特徴とする請求項 1 に記載の認証システム。

【請求項 3】 携帯端末の所持者が登録上の所有者と同じであることを、該所有者が所望する商品又は役務を提供する提供者に認証する方法であって、携帯端末又は提供者側の端末からの指示により、携帯端末の登録上の所有者の顔写真を含む画像データを、ネットワーク上のサイトから携帯端末又は提供者側の端末に送信することを要求するステップと、前記要求に基づき前記携帯端末の所有者の画像データを前記携帯端末又は提供者側の端末に送信するステップと、前記送信するステップにより送信された画像データを前記携帯端末又は提供者側の端末で受信して該所有者の画像を画面表示するステップとからなることを特徴とする認証方法。

【請求項 4】 携帯端末の所有者から該所有者が所望する商品又は役務を提供する提供者への代金支払いについての決済を行うシステムであって、各種データの送受信が可能な携帯端末の登録上の所有者の顔写真を含む画像データを送信可能で、前記携帯端末の所有者からの集金と前記提供者への代金支払を代行するネットワーク上のサイトと、前記サイトに対して各種データの送受信が可能な前記提供者側の端末とを備え、前記サイトは、前記携帯端末又は提供者側端末から当該携帯端末の所有者についての識別情報を受信した際に、前記携帯端末又は提供者側の端末に前記所有者の画像データを送信して、その画像を画面表示させ、前記提供者によって前記提供者側の端末から送信された認証データを受信した際に、前記携帯端末の所有者からの集金と前記提供者への代金支払を代行する処理を実行することを特徴とする決済システム。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ユーザが登録されたユーザと同一人物であることを認証するシステムとこの認証システムを応用した決済システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来より、商品又は役務の購買者から提供者への代金の支払にクレジットカードが使用されている。提供者は、このクレジットカードによる代金の支払を受け付ける際に、クレジットカードに記入されたサインと購買者が伝票等に記入したサインとを比較する方法で、購買者が登録されたユーザと同一人物であることを認証している。また、インターネット上の各種サービスのユーザに対して課金を行う課金システムの分野において、ユーザ ID とパスワードを用いて、各種サービスにアクセス中のユーザが登録されたユーザと同一人物であることを認証するようにしたものがある（例えば、特許第 2939723 号公報参照）。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記のような従来のサインを比較して購買者が登録されたユーザと同一人物であることを認証する方法では、購買者がクレジットカードを盗んだ者であり、クレジットカードに記入されたサインの真似をして伝票等にサインをした場合に、提供者が購買者を登録されたユーザと同一人物であると誤認してしまう場合があり、また、購買者がクレジットカードを持ち歩く必要があるため、安全面の問題がある。また、上記特許第 2939723 号公報に示されるようなユーザ ID とパスワードを用いた認証方法を、商品又は役務の購買者から提供者への代金の支払に適用した場合には、登録されたユーザのパスワードが盗み見られる危険性があり、また、ユーザが生年月日等の簡単な数字をパスワードに用いている場合は、他人が容易にパスワードを推定できる。このため、登録されたユーザ以外の不正なユーザが他人のパスワードを用いてその他人の口座から商品又は役務の購入代金を引き落とす可能性がある。

【0004】 本発明は、上記問題を解消するものであって、登録されたユーザ以外の不正なユーザと正規の登録ユーザとを正確に判別することができるようにして、不正なユーザが登録ユーザの口座から商品又は役務の購入代金を引き落とすことを防ぐことが可能な認証システムと認証方法及び決済システムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、請求項 1 の発明は、携帯端末の所持者が登録上の所有者と同じであることを、所有者が所望する商品又は役務を提供する提供者に認証するシステムであって、各種データの送受信が可能な携帯端末の登録上の所有者の顔写真を含む画像データを携帯端末又は提供者側の端末に

## 3

送信可能なネットワーク上のサイトを備え、サイトから携帯端末又は提供者側の端末に送信された所有者の画像データに基づく画像を画面に表示させ、携帯端末の所持者が登録上の所有者と同じであることを提供者に対して認証可能とするものである。

【0006】上記構成においては、サイトから携帯端末の登録上の所有者の顔写真を含む画像データが携帯端末又は提供者側の端末に送信されて、この画像データに基づいて携帯端末又は提供者側の端末が携帯端末の登録上の所有者の顔写真を含む画像を画面上に表示する。この画面表示を見ることにより、携帯端末の所持者が正規の登録上の所有者であるか、又は不正な所持者であるかを正確に判別可能となり、提供者側での正確な認証が可能となる。

【0007】また、サイトは、携帯端末又は提供者側端末から当該携帯端末の所有者についての識別情報を受信した際に、携帯端末又は提供者側端末に所有者の画像データを送信するものとするのが望ましい。これにより、携帯端末の所持者又は商品・役務の提供者は、携帯端末又は提供者側の端末から当該携帯端末の所有者についての識別情報を送信するという簡単な操作を行うだけで、携帯端末又は提供者側の端末に携帯端末の登録上の所有者の顔写真を含む画像を表示させることができ、容易に上記作用が得られる。

【0008】また、請求項3の発明は、携帯端末の所持者が登録上の所有者と同じであることを、所有者が所望する商品又は役務を提供する提供者に認証する方法であって、携帯端末又は提供者側の端末からの指示により、携帯端末の登録上の所有者の顔写真を含む画像データを、ネットワーク上のサイトから携帯端末又は提供者側の端末に送信することを要求するステップと、この要求に基づき携帯端末の所有者の画像データを携帯端末又は提供者側の端末に送信するステップと、送信するステップにより送信された画像データを携帯端末又は提供者側の端末で受信して所有者の画像を画面表示するステップとからなるものである。この方法により、上記と同様な作用を得ることができる。

【0009】また、請求項4の発明は、携帯端末の所有者から該所有者が所望する商品又は役務を提供する提供者への代金支払いについての決済を行うシステムであって、各種データの送受信が可能な携帯端末の登録上の所有者の顔写真を含む画像データを送信可能で、携帯端末の所有者からの集金と提供者への代金支払を代行するネットワーク上のサイトと、サイトに対して各種データの送受信が可能な提供者側の端末とを備え、サイトは、携帯端末又は提供者側端末から当該携帯端末の所有者についての識別情報を受信した際に、携帯端末又は提供者側の端末に所有者の画像データを送信して、その画像を画面表示させ、提供者によって提供者側の端末から送信された認証データを受信した際に、携帯端末の所有者から

## 4

の集金と提供者への代金支払を代行する処理を実行するものである。

【0010】この構成においては、提供者が携帯端末又は提供者側の端末に表示された携帯端末の登録上の所有者の顔写真を含む画像に基づいて、携帯端末の所持者が登録上の所有者と同じであることを正確に認証することができる。これにより、携帯端末の所持者が登録上の所有者と異なる不正な所持者である場合に、サイトが不正な所持者による商品又は役務の購入代金を携帯端末の登録上の所有者から集金してしまうことを防ぐことができる。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本発明を具体化した実施形態について図面を参照して説明する。図1に本発明を適用した認証決済システムの概念を示す。この認証決済システム1は、商品又は役務の購入者2（図中の利用者）が所持する携帯電話5（請求項における携帯端末）と、商品又は役務の提供者3が利用可能な通信機能を有するPOS（Point Of Sales）レジスタ6（請求項における提供者側の端末：以下、POSレジと略す）と、画像データの送信が可能なネットワーク上の電子決済サイト4とから構成される。図に示されるように、携帯電話5を所持する購入者2は、店舗等で商品又は役務を購入する際に、所持している携帯電話5の電話番号（TELNo）を提供者3に通知する。提供者3は、購入者2から通知された電話番号をPOSレジ6を用いて電子決済サイト4に送信する。電子決済サイト4は、この電話番号についての情報をPOSレジ6から受信すると、携帯電話5の登録上の所有者の顔写真を含む画像（図中の本人証明情報：以下、顔画像という）を携帯電話5又はPOSレジ6の画面上に表示する。提供者3は、この顔画像に基づいて購入者2が携帯電話5の登録上の所有者と同じであるか否かを確認する。そして、購入者2が登録上の所有者と同じであることが確認できた場合には、携帯電話5又はPOSレジ6から電子決済サイト4に対して認証した旨の応答（請求項4における認証データ）を送信する。電子決済サイト4は、この認証した旨の応答を受信すると、携帯電話5の登録上の所有者と交わしたプライバシー契約又は口座引き落とし契約及び提供者3と交わした決済契約に基づいて、購入者2により購入された商品又は役務の購入代金を登録上の所有者の口座等から集金し、集金した代金を提供者3に支払う。

【0012】図2に上記認証決済システム1における購買者2と提供者3との間の決済の仕組みを示す。図中の決済代行サービスサイト8及び購買者の指定金融機関9は、図1中の電子決済サイト4に相当する。購買者2は、この決済方法を導入する前提として、図に示されるように、本人の引き落とし口座、携帯電話5の電話番号、暗証番号等を決済代行サービスサイト8に登録しておく必要がある。また、提供者（販売者）3は、決済代

行サービスサイト8より指定された通信機能を持った端末（POSレジ）6を導入した上で、決済代行サービスサイト8との間で決済方法やユーザの目視認証の合意についての契約を行っておく必要がある。

【0013】次に、購買者2が提供者3から商品又は役務を購入する際の処理と、決済代行サービスサイト8及び指定金融機関9による購買者2と提供者3との間の決済の仕組みについて説明する。購買者2は、所持している携帯電話5の電話番号を提供者3に通知した上で、提供者3に対して所望する商品又は役務を指定して、  
 “これを買います”と伝える。提供者3は、“この電話番号の人に売りますよ”という情報をPOSレジ6から決済代行サービスサイト8に送信する。これに対して、決済代行サービスサイト8は、提供者3のPOSレジ6又は購買者2の携帯電話5の画面上に携帯電話5の登録上の所有者の顔画像を表示した上で、提供者3のPOSレジ6の画面上に、“その人はこんな顔の人ですか？”というメッセージを表示させる。提供者3がPOSレジ6から決済代行サービスサイト8に対して、“そうです”という旨の応答情報を送信すると、決済代行サービスサイト8は、“この店でこれを〇円で買いますか？”というメッセージを購買者2の携帯電話5の画面上に表示させる。そして、購買者2が、携帯電話5から決済代行サービスサイト8に対して、“はい”という旨の応答情報を送信すると、決済代行サービスサイト8は、購買者2の指定金融機関9における指定口座の残高を確認した上で、この指定口座から購買者2が購入した商品又は役務の代金を引き落とす。そして、決済代行サービスサイト8は、この引き落としした金額から決済代行サービスサイト8自身の受け取る手数料を差し引いた金額を、提供者3の指定する方法で提供者3に支払う。但し、購買者2の指定口座の残高が何らかの理由（法律上の問題で他人の指定口座の残高紹介ができない等の理由）で確認できなかった場合は、決済代行サービスサイト8は、購買者2がプリペイド方式で特定の運営会社に預け入れたお金から購買者2が購入した商品又は役務の代金を引き落とす。

【0014】図3に上記概念を具現化する第1の実施形態による認証決済システム1の構成を示す。この認証決済システム1は、上述した購買者側の携帯電話5、提供者側のPOSレジ6、決済代行サービスサイト8、及び銀行等の金融機関が運営する各種決済システム30（図2中の指定金融機関9に相当）より構成される。携帯電話5は、全体の制御を行う制御回路11、決済代行サービスサイト8等とのデータの送受信に用いられるアンテナ12、携帯電話5の所有者の顔画像等を表示する液晶ディスプレイ13、電話番号等の各種データを入力するための数字キー14、及び液晶ディスプレイ13に表示された各種項目の選択を行うためのカーソルキー15と決定キー16とを有している。携帯電話5には画像デー

タの受信と表示が可能な機種（Iモードに対応した機種等）のものが用いられる。また、POSレジ6は、装置全体の制御を行うCPU21、決済代行サービスサイト8等とのデータの送受信を行うデータ送受信部22、各種の情報を表示するディスプレイ23、購入された商品又は役務のバーコードの読み取りや携帯電話5の電話番号を入力するための入力部24、及び決済代行サービスサイト8から送信されたデータ等の記憶を行う記憶部25からなる。また、各種決済システム30は、プリペイド決済システム31（購買者2からプリペイド方式で預け入れられたお金の管理を行う運営会社のシステム）、金融系決済システム32（銀行等の一般金融機関の勘定系システム）、及び通信系決済システム33（店舗を持たないネットワーク上の金融機関）より構成される。携帯電話5、POSレジ6、決済代行サービスサイト8及び各種決済システム30は、通信回線35により相互に接続されている。

【0015】次に、上記第1の実施形態による認証決済システム1の処理の流れについて図4及び図5を参照して説明する。図4中の乃至は、図5中の乃至に対応している。購買者2が、所持している携帯電話5の電話番号を提供者3に通知すると（S1）、提供者3は、この電話番号をPOSレジ6に入力して（S2）、この電話番号をPOSレジ6のデータ送受信部22から決済代行サービスサイト8に送信する（S3）。この電話番号を受信すると、決済代行サービスサイト8は、利用者特定情報データベース（D/B）38に格納された携帯電話5の登録上の所有者の顔画像データを購買者2の携帯電話5に送信して、登録上の所有者の顔画像画面41を携帯電話5の液晶ディスプレイ13（図5中の携帯端末画面に相当）上に表示させた上で（S4）、提供者3のPOSレジ6のディスプレイ23（図5中のPOSレジ画面に相当）上に、“購買者の端末に映し出された顔写真を確認して下さい”という確認用メッセージ42を表示させる（S5）。これに対して、提供者3は、購買者2の顔と携帯電話5の登録上の所有者の顔画像画面41とを見比べて、購買者2が登録上の所有者と同じであると認証できた場合には、POSレジ6の入力部24を用いて“1（OK）”を入力して、確認用メッセージ42に対して応答する（S6）。

【0016】上記購買者2が購入した商品又は役務の種類や数量についての情報（以下、購入情報と略す）を提供者3がPOSレジ6の入力部24から入力して（S7）、決済代行サービスサイト8に送信すると、決済代行サービスサイト8は、購買者2の購入了解を確認するためのメッセージを購買者2の携帯電話5に送信して、確認用メッセージ画面43として携帯電話5の液晶ディスプレイ13上に表示させる（S8）。これに対して、購買者2が携帯電話5のカーソルキー15及び決定キー16を用いて“1（はい）”を選択し、確認用メッセー

ジ43に対して応答すると(S9)、決済代行サービスサイト8は、決済契約情報データベース(D/B)39の内容に基づいて、各種決済システム30中の購買者2の指定口座から購買者2が購入した商品又は役務の代金を引き落とし、引き落とした金額から決済代行サービスサイト8の受け取る手数料を差し引いた金額を、提供者3の指定する口座に振り込む。そして、決済代行サービスサイト8は、POSレジ6に取引成立情報を送信して、POSレジ6のディスプレイ23上に取引成立情報画面44として表示させる(S10)。また、各種決済システム30中の購買者2の指定口座が存在する決済システムは、購買者2の携帯電話5と提供者3のPOSレジ6に正式な決済情報を送信して、この決済情報を携帯電話5の液晶ディスプレイ13とPOSレジ6のディスプレイ23上に表示させる(S11, S12)。

【0017】上述したように第1の実施形態による認証決済システム1によれば、決済代行サービスサイト8から携帯電話5の登録上の所有者の顔画像を携帯電話5に送信して、この顔画像を携帯電話5の液晶ディスプレイ13上に表示するようにしたことにより、提供者3は、携帯電話5の所持者が登録上の所有者であるか、又は不正なユーザであるかを容易かつ正確に判別することができ、提供者側での購買者2についての認証が正確に行える。これにより、不正なユーザが登録上のユーザのふりをして商品又は役務を購入することができなくなり、従って、不正なユーザが登録上のユーザの口座から商品又は役務の購入代金を引き落とすことを防ぐことができる。

【0018】上記のような認証決済の方法を採ることにより、購買者2及び提供者3の双方にとってカード決済よりも安全性の高い決済を実現することができる。また、購買者2は、決済代行サービスサイト8と決済についての契約を行ってだけで、現金を持ち歩く必要がなくなる。さらにまた、購買者2は、商品又は役務の購入の際に、確認用メッセージ画面43と各種決済システム30から送信された正式な決済情報とに基づいて、リアルタイムに決済内容を確認できる。

【0019】次に、第2の実施形態による認証決済システム1の処理の流れについて図6を参照して説明する。図6中の乃至の処理は、それぞれ図5中の乃至に対応した処理である。第2の実施形態では、決済代行サービスサイト8は、携帯電話5の所有者の顔画像を、購買者2の携帯電話5ではなく、提供者3のPOSレジ6に送信して、そのディスプレイ23上に表示させる。すなわち、決済代行サービスサイト8は、POSレジ6から送信された電話番号を受信すると、に示されるように、前述した図5中の顔画像画面41と確認用メッセージ42とを結合させた顔写真確認用画面51をPOSレジ6のディスプレイ23上に表示させる。これに対して、提供者3は、この顔写真確認用画面51と購買者2

の顔とを見比べて、購買者2が登録上の所有者と同じであることが認証できた場合には、POSレジ6の入力部24を用いて"1(OK)"を入力して、に示されるように、確認用メッセージ42に対して肯定的な応答をする。この後、決済代行サービスサイト8は、及びに示されるように、上述した図5と同様な処理を行って、購買者2と提供者3との間の購買代金の決済を代行する。

【0020】本発明は、上記実施形態に限られるものではなく、様々な変形が可能である。例えば、上記第1及び第2の実施形態による認証決済システム1は、携帯電話5とPOSレジ6の両方を含んだ構成であったが、認証決済システムを携帯電話とPOSレジのいずれか片方のみを含んだ構成として、携帯電話とPOSレジのいずれか片方のみから決済代行サービスサイトに対する送受信を行うようにしてもよい。また、上記第1及び第2の実施形態では、決済代行サービスサイト8に送信する携帯電話5の所有者の識別情報としてその携帯電話5の電話番号を用いたが、携帯電話5の所有者の識別情報はこれに限らず、例えばユーザID等でもよいし、また、携帯電話5の電話番号と暗証番号とを合わせたものであってもよい。さらにまた、購買者2の所有する携帯端末は、携帯電話に限らず、通信機能と文字等の表示機能を有するモバイルタイプの情報機器であれば何でもよい。また、提供者側の端末もPOSレジに限らず、例えば一般のパーソナル・コンピュータであってもよい。

【0021】

【発明の効果】以上のように請求項1の発明によれば、サイトから携帯端末の登録上の所有者の顔写真を含む画像を携帯端末又は提供者側の端末に送信して、この顔写真を含む画像を携帯端末又は提供者側の端末の画面に表示させるようにしたことにより、提供者が、この登録上の所有者の顔写真に基づいて、不正なユーザと登録上のユーザとを正確に判別することができる。これにより、不正なユーザが登録上のユーザのふりをして商品又は役務を購入することができなくなり、従って、不正なユーザが登録上のユーザの口座から商品又は役務の購入代金を引き落とすことを防ぐことができる。

【0022】また、サイトを、携帯端末又は提供者側端末から当該携帯端末の所有者についての識別情報を受信した際に、携帯端末又は提供者側端末に所有者の画像データを送信するものとすることにより、携帯端末の所持者又は商品・役務の提供者が、携帯端末又は提供者側の端末から当該携帯端末の所有者についての識別情報を送信するという簡単な操作を行うだけで、携帯端末又は提供者側の端末に携帯端末の登録上の所有者の顔写真を含む画像を表示させることができる。これにより、携帯端末を不正に取得したユーザと携帯端末の本来の所有者である登録上のユーザとを判別するための処理を簡単にすることができ

10

20

30

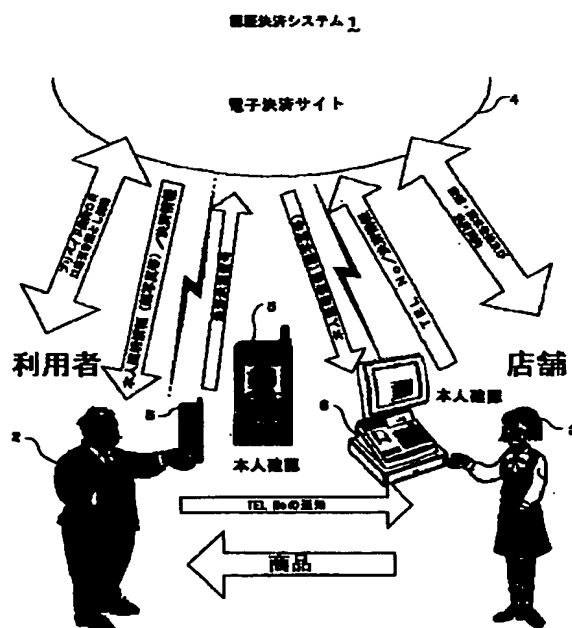
40

50

【0023】また、請求項3の発明によれば、携帯端末又は提供者側の端末からの指示により、携帯端末の登録上の所有者の顔写真を含む画像データを、ネットワーク上のサイトから携帯端末又は提供者側の端末に送信することを要求するステップと、要求に基づき携帯端末の所有者の画像データを携帯端末又は提供者側の端末に送信するステップと、送信するステップにより送信された画像データを携帯端末又は提供者側の端末で受信して所有者の画像を画面表示するステップとを備えたものとしたことにより、上記に記載の発明と同等の効果を達成することができる。

【0024】また、請求項4の発明によれば、サイトを、携帯端末又は提供者側端末から当該携帯端末の所有者についての識別情報を受信した際に、携帯端末又は提供者側の端末に所有者の画像データを送信して、その画像を画面表示するものとしたことにより、提供者が、携帯端末又は提供者側の端末に表示された携帯端末の登録上の所有者の顔写真に基づいて、携帯端末の所持者が登録上の所有者と同じであることを正確に認証することができる。これにより、携帯端末の所持者が登録上の所有者と異なる不正なユーザである場合に、サイトが、この不正なユーザにより購入された商品又は役務の購入代金を、携帯端末の本来の所有者である登録上のユーザから

【図1】



集金してしまうことを防ぐことができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明を適用した認証決済システムの概念を示す図。

【図2】 上記認証決済システムにおける購入者と提供者との間の決済の仕組みを示す図。

【図3】 本発明の第1の実施形態による認証決済システムの構成図。

【図4】 上記認証決済システムの全体の処理の流れを示す図。

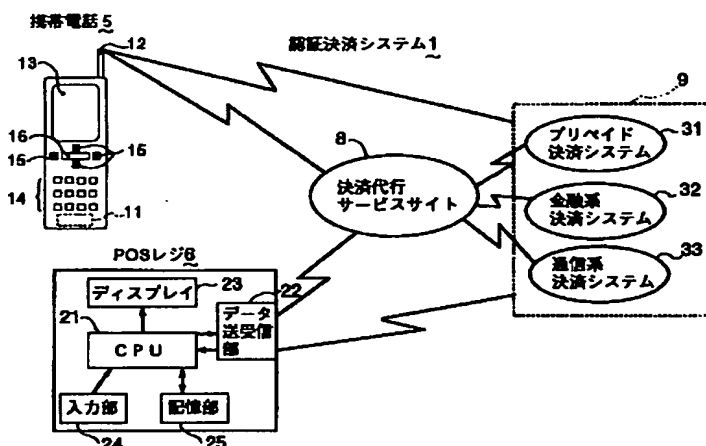
【図5】 上記認証決済システムにおける販売店での処理の流れを示す図。

【図6】 本発明の第2の実施形態の認証決済システムにおける販売店での処理の流れを示す図。

#### 【符号の説明】

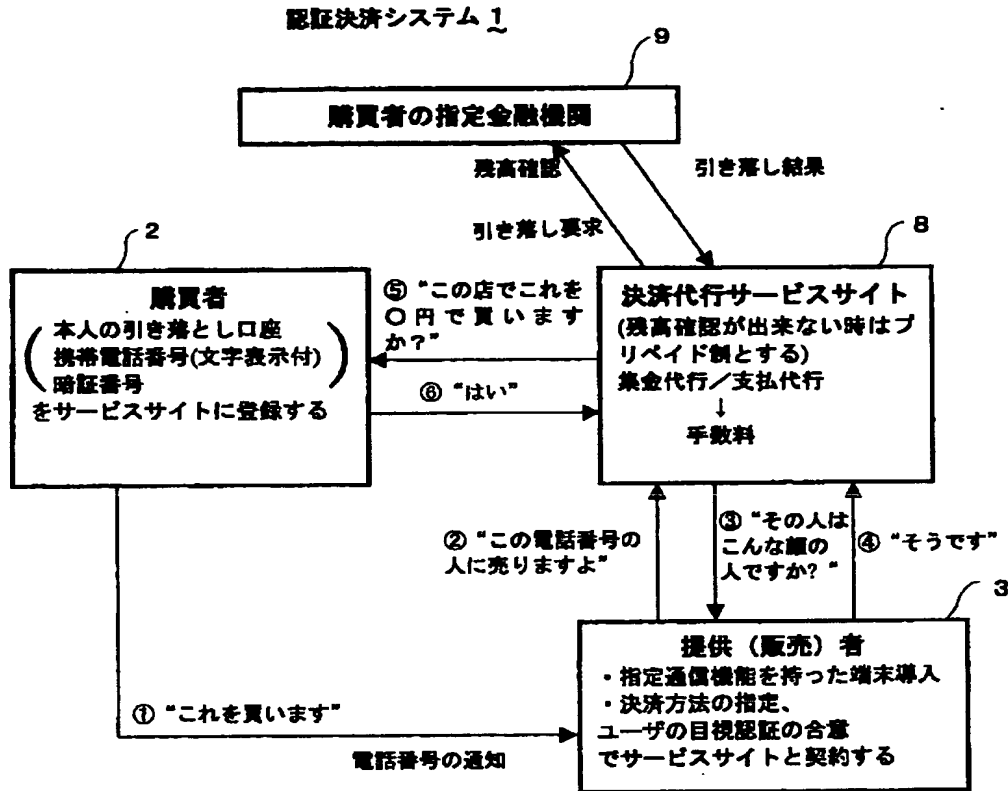
- 1 認証決済システム（認証システム、決済システム）
- 2 購入者（携帯端末の所持者）
- 3 提供者
- 5 携帯電話（携帯端末）
- 6 POSレジ（提供者側端末）
- 8 決済代行サービスサイト（サイト）

【図3】

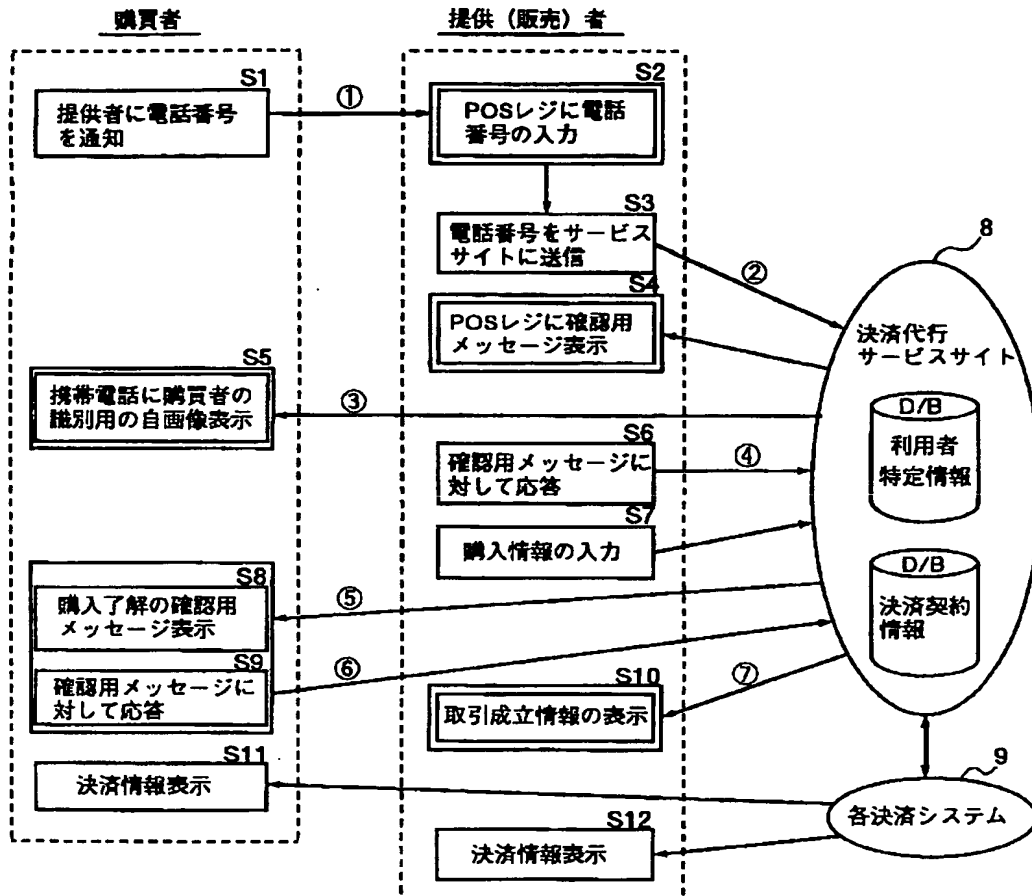




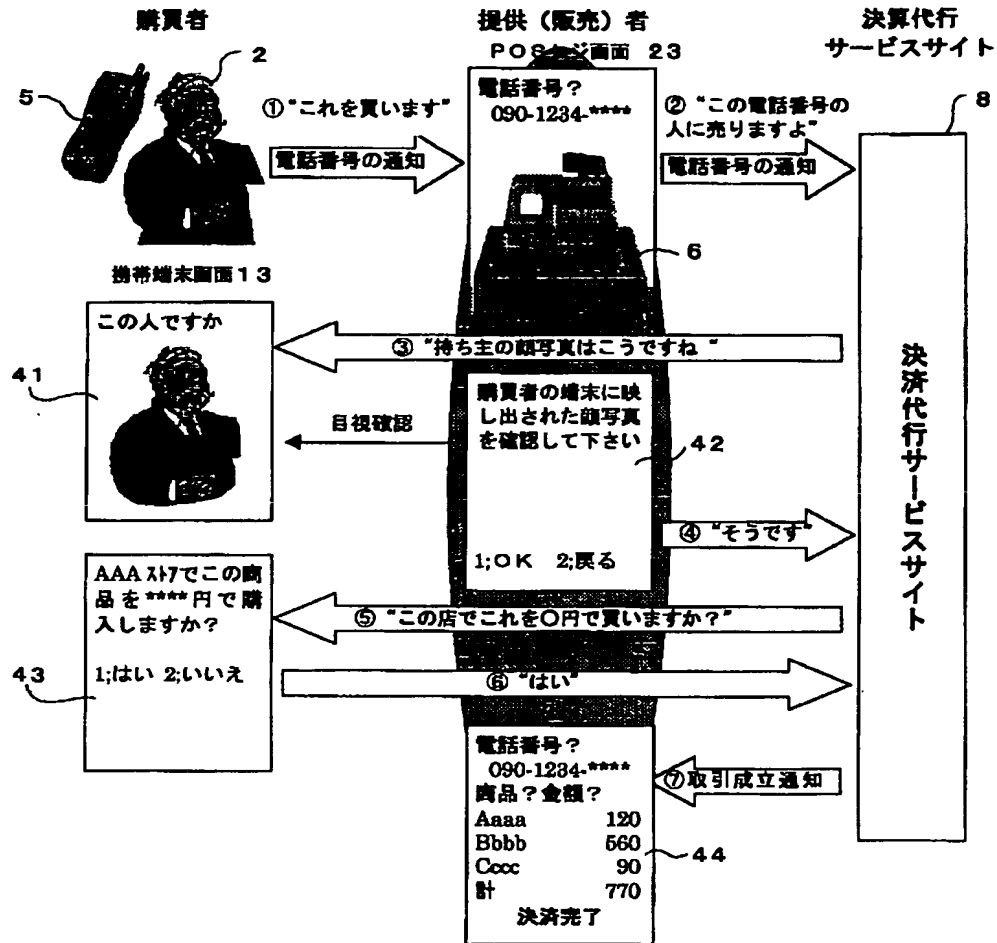
【図2】



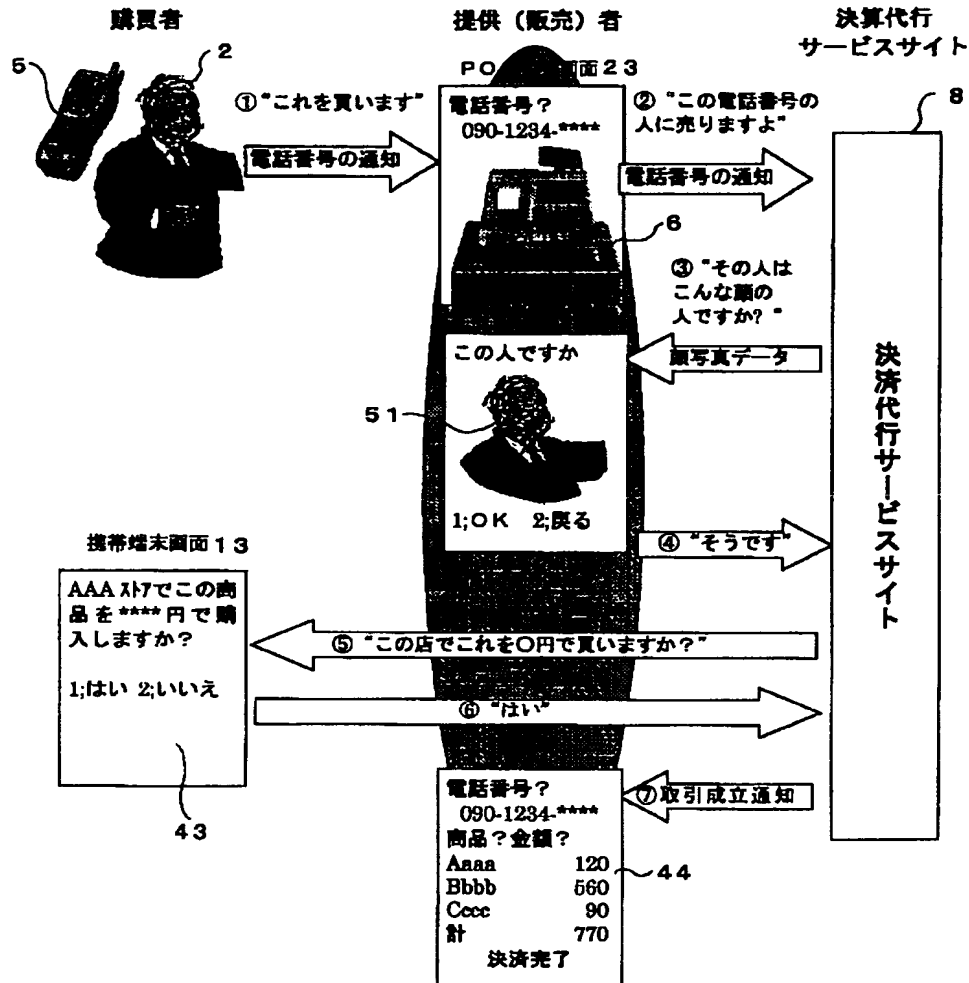
【図4】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

識別記号

F I  
H 0 4 L 9/00

テ-マ-ド' (参考)

6 7 3 D

Fターム(参考) 5B049 AA05 BB46 CC36 FF04 GG02  
 GG03 GG06  
 5B055 BB12 HB04  
 5B085 AE23 AE25 BE07  
 5J104 AA07 KA01 KA16 MA01 NA01  
 NA05 PA10

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER: \_\_\_\_\_**

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**